

29日より3回目の岩手県陸前高田市に入り、本日で12日目になりますが一日一日と復興に向けて変わって行くまちの中で、現地の皆様の優しさと誇り高い姿に触れ、多くの学びを得ながら心からの充実した日々を過ごしています。

沖縄を想うたびに、このような貴重な体験を一人でも多くの皆さんに経験して頂きたいという思いが日々強くなっています。

この度、対策会議の中に於いて「ゆいまーる行動隊」の陸前高田市での支援活動を6月12日を目安に一旦休止する旨を伝えてありますが、当初我々が注力してきた陸前高田市ボランティアセンターの運営が素晴らしくなされている事と、「ゆいまーる行動隊」へのJCメンバー以外の参加者がそのタイミングで終了することが理由として挙げられますが、何と言っても我々はJCとして予定者段階で立てた計画を実行することにより「尊敬される沖縄」を創造するという大きな責任を果たすために動き出さなければなりません。

被災された東北地方において、悲しみの中で歯を食いしばって頑張っているJAYCEEと同じバッジを着けている同志として、何が何でもその運動を展開することこそが、被災を受けていない地域のJAYCEEとしての最低限の姿であると思えます。

そして、その運動を自分達の地元で展開しながらも、いつも心の中に東北を想いながら、来るべき時には再度現地に向かうことができるような体制を整えたいと考えています。復興へはとてつもなく長い道のりになると思えます。

この時代に生まれた者として、現地での活動に直接的、間接的に関わった者として、精一杯の自分達ができる事をやっていきましょう。

いみじくも60年前JCが設立され、この国の再建を青年が担うことを宣言しました。そして今日、この国を再建する青年とは我々一人ひとりなのです。

2011年度の終わりに、心からの充実感、達成感を感じられる姿をイメージしながら、明るく元気に確かなる一歩を踏み出していきましょう。

2011年5月10日

公益社団法人 日本青年会議所
沖縄地区協議会 会長 花城大輔